



1 配管材料 ・印の付いたものを適用する。但し、印がある場合はこれを優先する。又、×印は通用しない。(以下共通)

[illegible]

## 2 弁 類

呼 称	使用区分	規 格		冷 温 水	冷 却 水	油	蒸 気	冷 媒	ド レ ン	給 水	給 湯	汚 水	排 水	通 風	ガ ス	消 火	消 雪	エ ア ー
		番 号	材 質 ・ 種 類															
仕切弁	S0A以下	JISB2011 JISB2052	青銅 可鍛鑄鉄	ねじ込み ねじ込み						○	○	○	○			○		
	65A以上	JISB2031,44 JISB2083	鋳鉄 鋼網	フランジ 20K フランジ						○	○					○		
玉形弁	S0A以下	JISB2011 JISB2051	青銅 可鍛鑄鉄	ねじ込み 10K ねじ込み						○	○					○	○	
	65A以上	JISB2031 JISB2071	鋳鉄 鋼網	10K フランジ 20K フランジ														
逆止弁	S0A以下	JISB2011 JISB2053	青銅 可鍛鑄鉄	10K リフト 10K リフト						○		○	○			○		
	65A以上	JISB2041 JISB2084	鋳鉄 鋼網	10K スイング 20K スイング						○						○		
バタフライ弁	65A以上	SAS358	ゴムシート ステンレス鋼	10K 10K						○	○							
ボールド弁	S0A以下	SAS358	青銅 ステンレス鋼	10K 10K ねじ込み						○	○							
	65A以上	SAS358	鋳鉄 ステンレス鋼	10K フランジ 10K フランジ						○	○							
コック	S0A以下	JISB2191	青銅	10K ねじ込み						○	○				○			
圧力による使用区分			JIS-5K JIS-10K							○ ○	○							

### 3 保温・防食仕様

[illegible]

#### 4 保温外装材

材 料	機 器 類		管 類					
	機械屋内	屋外露出	屋内隠蔽	増築内	屋内露出	屋外露出		
ファインカバー								
アルミホイルペーパー				○				
アルミガラスクロス			○					
亜鉛鉄板（調合ペイント）	○							
青色亜鉛鉄板					○			
アルミニウム板								
ステンレス鋼板		○				○		
合成樹脂製カバー						○	冷媒	
防水麻布								
アスファルトジュート								

5 屋外塗装仕上げ (機器仕上げは、機器表による)

使用場所	塗 装 仕 上 げ
鉄 部	○溶融亜鉛鍍金 合成樹脂調合
亜鉛鍍金部	○合成樹脂調合 鉛酸カルシウム錆止め
浸水部	○ヘンセイシリコン樹脂 アスファルトベント
塩害部	○亜鉛鍍金用塩化ゴム製プライマ エポキシ樹脂

## 6 註記事項 (表1~表5)

1	地中埋設		
2	ビッド内		
3	床下転がし		
4	コンクリート内（厨房）		
5	屋外地中 100A 以上は V U とする		
6	土間配管		
7	屋内露出		
8	屋外散水系統		
9			

## 7 特記事項

<p>① 配 管</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 管の地中埋設深さは、車両道路750mm以上、それ以外は450mm以上とする。また、寒冷地は凍結深度以上とする。</li> <li>○ 防火区画を貫通する管は、その隙間をモルタルまたはロックウール保温材で埋める。 外壁地中部分など水密を要する部分のスリーブは、ツバ付を鋼管とし管とスリーブとの隙間をシーリング材によりシーリングし、水密を保つ。</li> <li>○ 塩化ビニリング鋼管及びポリ粉体鋼管で、ネジ接合を行う場合の継手は、管端防食継手とする。 ステンレス鋼管接合法は（ 圧縮式 プレス式 ）とする。ただし、755U 以上は溶接接合とする。</li> <li>○ 鋼管のうち、排水通気を除く水配管は、原則として呼び径 80A 以下はねじ接合、100A 以上はフランジ接合または溶接接合とする。</li> <li>○ 溶接接合に係わる溶接工については、十分な技量と経験を有したもので監督員が認めた者とする。</li> <li>○ 給水、給湯、開放系の冷温水、冷温水配管系で、異種金属の接続がある場合は、絶縁継手を使用する。 （鋼とステンレス、鋼と銅）</li> <li>○ 土間埋設配管はスラブより支持とする。支持金物はステンレス製を使用する。</li> <li>○ 横走り配管の据え止め支持は 100A 以下（○ 6m 8m ）、125A 以上（ m ）の間隔で、形鋼により支持する。</li> <li>○ 配管支持間隔は標準仕様書による。</li> <li>○ 都市ガス配管についてはガス事業者の規格による。</li> </ul>
<p>② 弁 類</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 塩化ビニリング鋼管、ポリ粉体鋼管に取り付ける鋼製弁はナイロンライニング弁とする。</li> <li>○ バックライスはギヤ式、ボール弁は 50A 以下はレバー式、65A 以上はギヤ式とする。</li> <li>○ 防振継手の使用区分は下記の通りとする。 ポンプ廻り（ 合成ゴム製球形フレム 3 山ケミフローベローズ ） 機器廻り（ 合成ゴム製球形フレム 3 山ケミフローベローズ ） ポンプ廻りの弁類は JIS-10K を使用する。</li> <li>○ 給水設備で水道直結部分の弁類は JIS-10K を使用する。</li> </ul>
<p>③ 保温・防食</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保温材厚さ、補助材、施工順序は標準仕様書による。</li> <li>○ 保温不要の配管、弁類、機器は標準仕様書による。</li> <li>○ 機器のうち、メーカーで保温、保冷を行うものはメーカー標準使用とする。 冷水、冷温水配管の支持部は合成樹脂製の支持受けを使用する。</li> <li>○ 屋外露出配管の防凍保温厚さは下記の通りとする。 呼び径 25A 以下（○ 40 50 ） 呼び径 32A 以下（○ 40 50 ）</li> <li>○ 給湯管で壁または床埋設をする場合は、被覆鋼管、保温付き被覆鋼管を使用してもよい。</li> <li>○ コンクリート埋設の給管は防食ビニルテープを重ね 1 回巻くとする。</li> </ul>
<p>④ 騒音対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 当地域の騒音規制法による基準をクリアする。施工者は設計に基づく消音対策を総合的に検証し、敷地境界線上の測定点を監理者と協議のうえ実施。騒音測定を行いデータを提出する事。</li> </ul>
<p>⑤ その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 土中埋設する鋼管類が躯体を貫通する場合、スリーブと管との空隙は電気的絶縁性のあるシーリング材によりシーリングを行う。</li> <li>○ 冷熱配管の防火区画貫通部分の処理は、国土交通省大臣認定工法による。</li> </ul>
<p>⑥ 注記事項</p>	<p>階数 3 以上の建築物で、排水・通気管に硬質塩化ビニル管を使用する場合下記に基いて施工する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>○ 防火区画（防火上主要な間仕切り）の貫通部前後 1m 以上を耐火構造とする。</li> <li>○ 最上階より数えた階数が 4 以内の階は 1 時間耐火構造、同 5 階以上の階は 2 時間耐火構造とする。</li> <li>○ 該当箇所の寸法は下表の通りとする。</li> </ol>

## 8 設備機材製造業者指定一覽表

- 1 設備機材及び工法（以下「機材」という）並びにこれらの製造業者及び施工業者（以下「製造業者等」という）は特記によるもののほか、本表の機材、製造業者等または同等品以上のものを使用する。
- 2 同等品以上とは、次の各号の条件に適合したもので、監督員の承認を得た機材、製造業者等とし、当該工事に限り使用できる。
  - （１）製品が専門の工事を行う場合は、建設業の許可を有すること。
  - （２）県内に実績のある本社、営業所または代理店を有すること。
- 3 機材は「J I S , J W W A , W S P , J C D A , H A S S」等指定されたものは省略する。
- 4 本表のうち、原則として同じ材料は１社に統一し、他社のものと混用しない。
- 5 監督員が承諾した機材等は、証明となる資料（施工図、制作図等）を工事完成まで事務所に提示する。

## 9 注意事項

1 着工後速やかに現地調査・官庁打合せを行い、図面との相違が判明した場合は監理者に報告し対応を検討する。

2

3

4

5

6

7

8

9

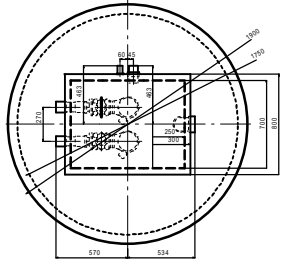
## 10 工事項目と概要

1 ・ 給湯管保温仕様

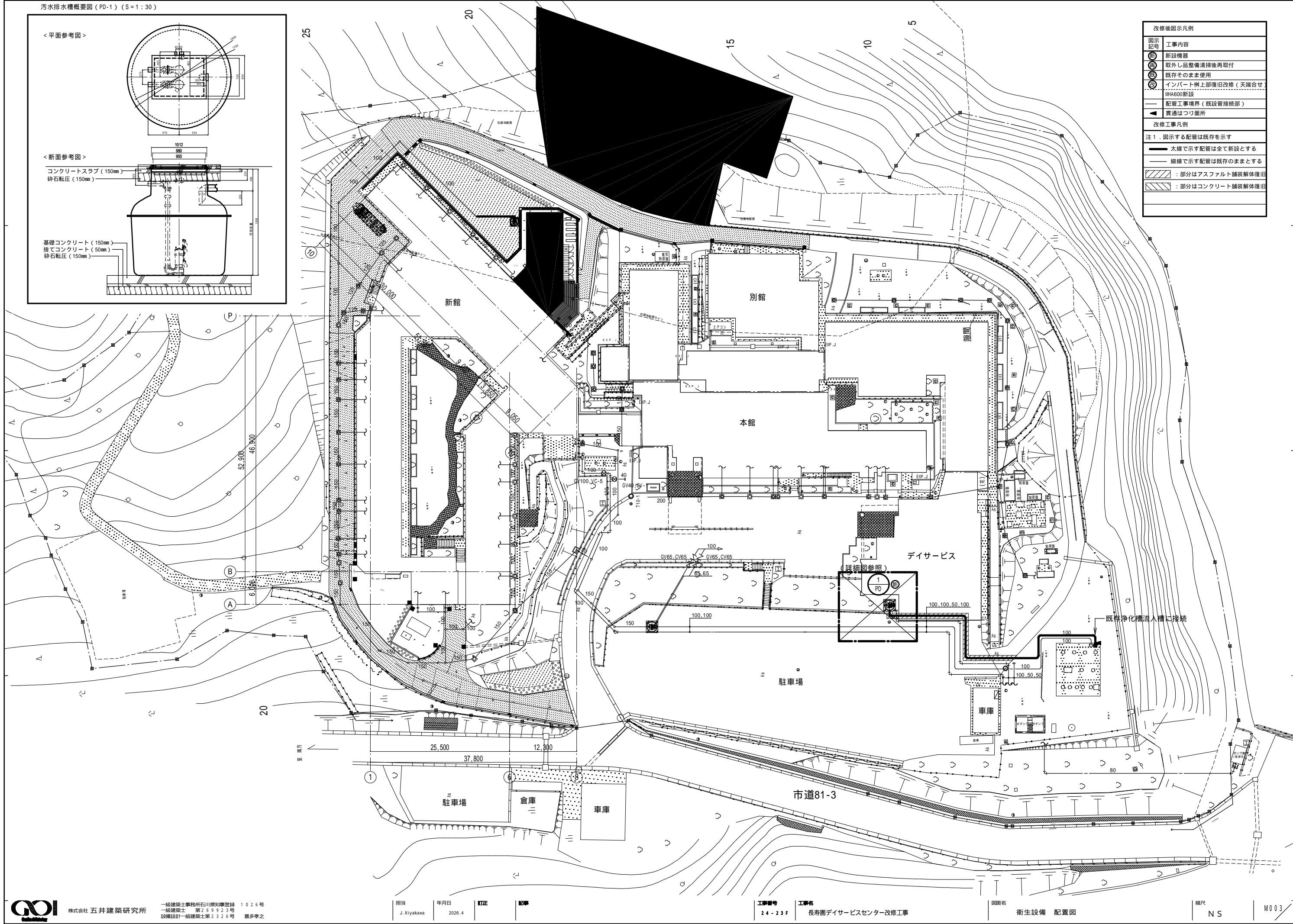
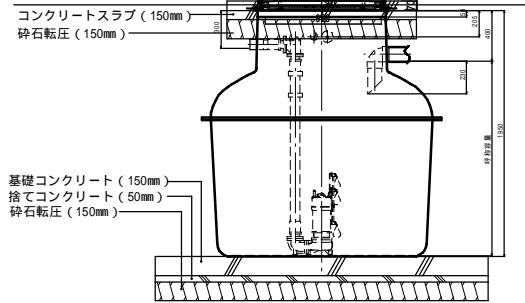
グラスウール保温筒 40K

管径 80mm 未満：保温材厚さ 20mm 以上  
管径 100mm 以上 200mm 未満：保温材厚さ 25mm 以上  
管径200mm 以上：保温材厚さ 40mm 以上

<平面参考図>



<断面参考図>



改修後図示凡例	
図示記号	工事内容
①	新設機器
②	取外し品整備清掃後再取付
③	既存そのまま使用
④	インバート樹上部復旧改修(天端合せ)
⑤	MHA600新設
—	配管工事境界(既設管接続部)
▲	貫通はつり箇所
改修工事凡例	
注1. 図示する配管は既存を示す	
—	太線で示す配管は全て新設とする
—	細線で示す配管は既存のままとする
▨	: 部分はアスファルト舗装解体復旧
▨	: 部分はコンクリート舗装解体復旧



図示凡例	
図示記号	工事内容
新	新設機器
取	取外し品整備清掃後再取付
更	既存撤去及び更新（新設）
撤	撤去処分
保	一時取外し保管
移	既存位置より、新規設置位置に移設する
既	既存そのまま使用
費	費通はつり箇所
切	撤去工事境界（既設配管切断部）
ダ	撤去配管・ダクトを示す
改修工事凡例	
1. 図示する配管は既存を示す	
枠内機器、ダクトを撤去する	
新設配管を示す	
：部分はアスファルト舗装解体復旧	

井リスト									
N.O	機 種	外 径	寸 法	材 質	設 置	改 修 内 容			
①	インバート 井	300	600	400	MHB	RC-3	インバート改修		
②	新 井	300	350	350	井	RC-1			
③	井	300	300	300	井	RC-1			
④	井	300	300	300	井	RC-1			
⑤	井	300	350	350	MHB	RC-1			
⑥	井	400	400	400	井	RC-2			
⑦	井	730	730	730	井	RC-2			

ポンプ類		型 式	数量	口径	吐出量	揚程	電動機	防振台	基礎	備 考
記 号	系統・用途			・mm	ℓ/min	KPa	kW	V		
1 PD	汚物中継ポンプ	ユニット型、水槽（3.0m3）付	1	65	460	80	1.5+1.5	3	200	上下耐圧 スラブ150H
・制御盤（屋外壁掛、耐塩仕様、自動フロートスイッチ、自動交互並列運転、外部警報出力端子、警報）										
制御配線工事含む、着脱装置、かさ上げスペーサー、通気管、耐圧マンホール蓋、付属品一式										
共通事項										

LPガス集合装置・収納庫		型 式	数量	材質	庫外寸法(参考)	ボンベ 容量	基礎	備 考
記 号	系統・用途				Lmm Wmm Hmm	本/50kg		
10 LPB	給湯機	多雪地域仕様	2本立用	1	SS 950 560 1,830	2	RC	・プロパンガス集合装置（50Kgボンベ×2本 調整器、集合管、高圧ホース、高圧止弁、圧力計） 転倒防止鎖、LPG容器収納庫、コンクリート基礎（1,100×650×200H、配筋共）
共通事項								
・ガスメーターは納入業者貸与品								

排水井リスト			寸 法		管底	井深さ	勾配	マンホール蓋	備 考
記号	名 称	規格・仕様	管径 A	井径	(mm)	(mm)	(%)		
	塩ビ製小口径井	90度曲がり	150	200	940	940	1/100	塩ビ製蓋	
		ストレート	150	200	990	990	1/100	塩ビ製蓋	
		ストレート	150	200	300	300	1/100	塩ビ製蓋	
		90度曲がり	150	200	370	370	1/100	铸铁製防護蓋(T-8) + 内蓋	
		90度曲がり	150	200	470	470	1/100	铸铁製防護蓋(T-8) + 内蓋	
		90度合流	150	200	550	550	1/100	塩ビ製蓋	
		90度曲がり	150	200	580	580	1/100	塩ビ製蓋	
		90度曲がり	150	200	610	610	1/100	塩ビ製蓋	
		分離トラップ	150	200	860	860	1/100	塩ビ製蓋	

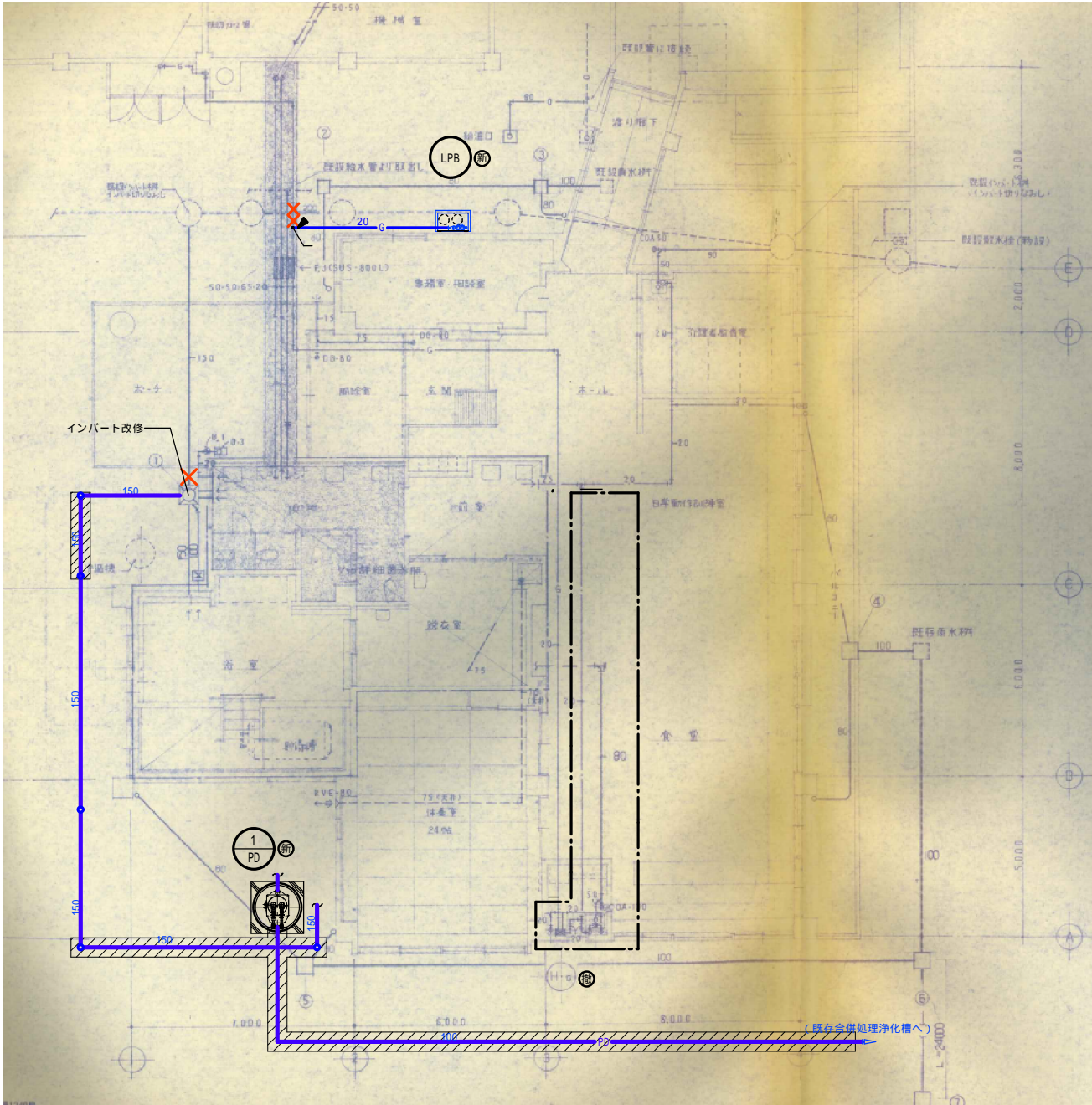
根切り断面図 (S=1:20)

<給水・給湯・ガス・油>	<排水>

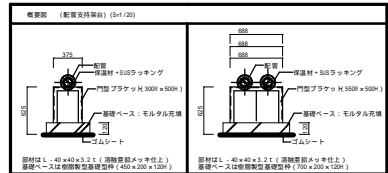
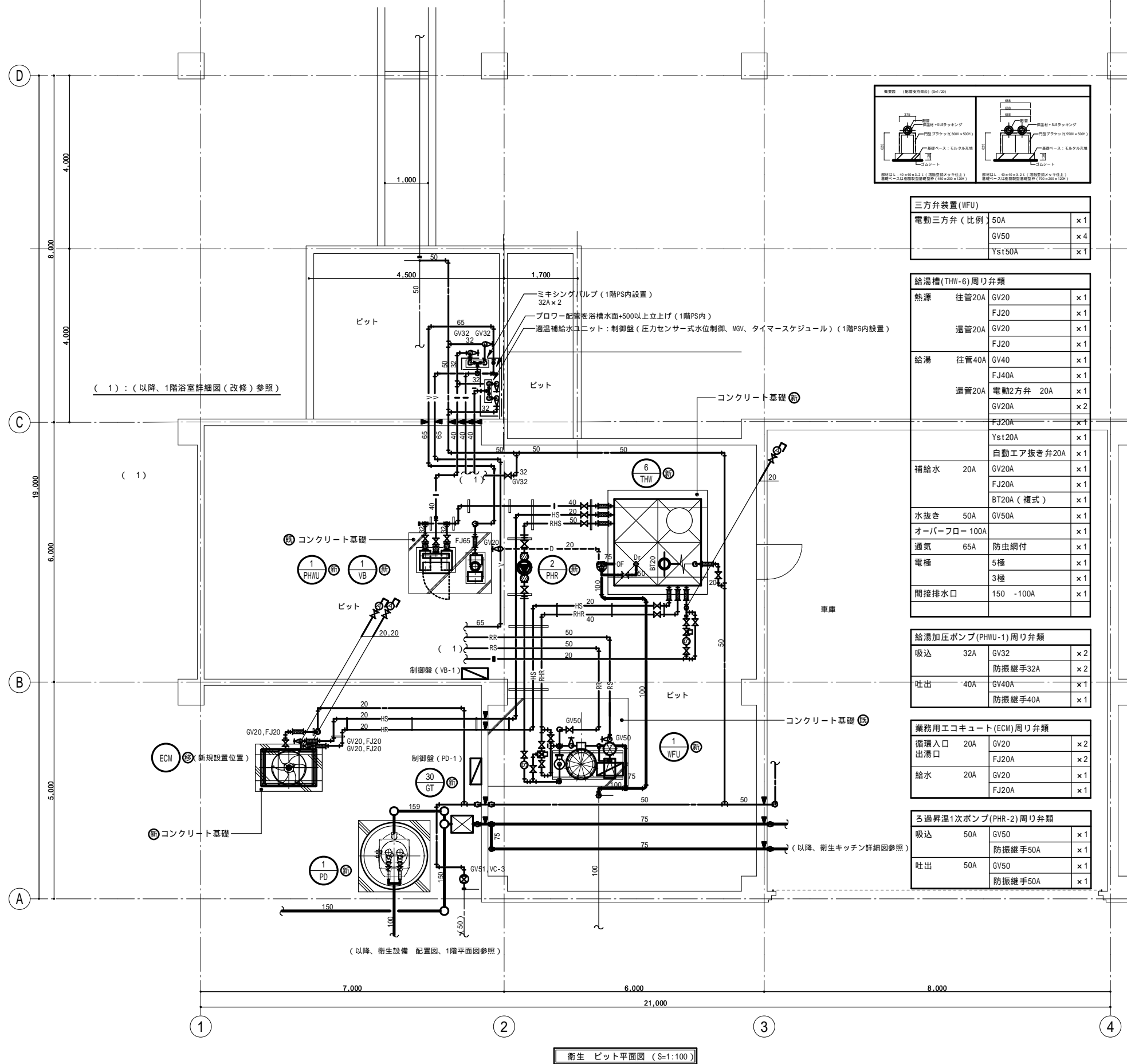
<アスファルト舗装部分>
<給水・給湯・ガス・油>
<排水>

小口径塩ビ井概要図

铸铁製蓋用	铸铁製防護蓋T-8用







三方弁装置 (WFU)		
電動三方弁 (比例)	50A	×1
	GV50	×4
	Yst50A	×1

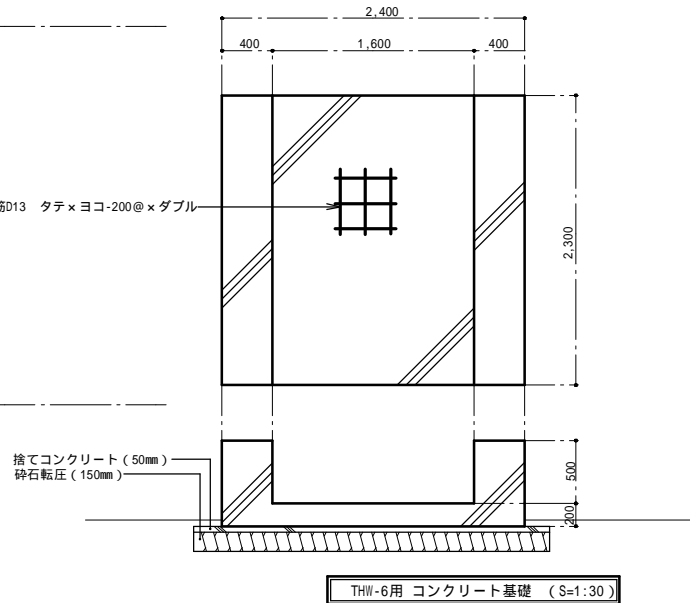
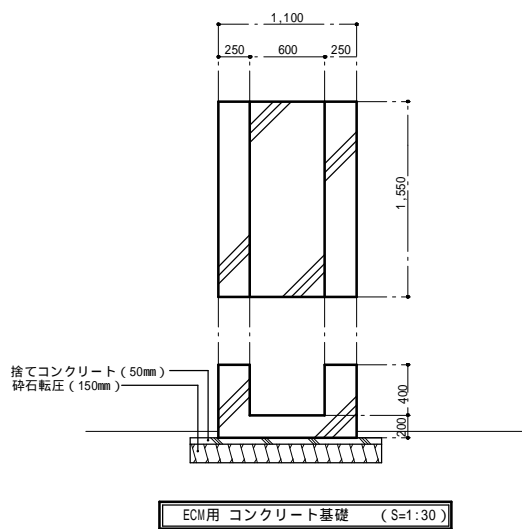
給湯槽 (THW-6) 周り弁類		
熱源	往管20A	GV20 ×1
	還管20A	FJ20 ×1
	還管20A	GV20 ×1
	還管20A	FJ20 ×1
給湯	往管40A	GV40 ×1
	還管20A	FJ40A ×1
	電動2方弁 20A	×1
	還管20A	GV20A ×2
	還管20A	FJ20A ×1
	還管20A	Yst20A ×1
	自動エア抜き弁20A	×1
補給水	20A	GV20A ×1
	20A	FJ20A ×1
	20A	BT20A (複式) ×1
水抜き	50A	GV50A ×1
オーバーフロー	100A	×1
通気	65A	防虫網付 ×1
電極	5極	×1
	3極	×1
間接排水口	150 - 100A	×1

給湯加圧ポンプ (PHWU-1) 周り弁類		
吸込	32A	GV32 ×2
	32A	防振継手32A ×2
吐出	40A	GV40A ×1
	40A	防振継手40A ×1

業務用エコキュート (ECM) 周り弁類		
循環入口	20A	GV20 ×2
出湯口	20A	FJ20A ×2
給水	20A	GV20 ×1
	20A	FJ20A ×1

ろ過昇温1次ポンプ (PHR-2) 周り弁類		
吸込	50A	GV50 ×1
	50A	防振継手50A ×1
吐出	50A	GV50 ×1
	50A	防振継手50A ×1

改修後図示凡例	
図示記号	工事内容
新	新設機器
取	取外し品整備清掃後再取付
既	既存そのまま使用
移	既存位置より、新規設置位置に移設する
配	配管工事境界 (既設管接続部)
貫	貫通はつり箇所
改修工事凡例	
注1: 図示する配管は既存を示す	
太線で示す配管は全て新設とする	
細線で示す配管は既存のままとする	



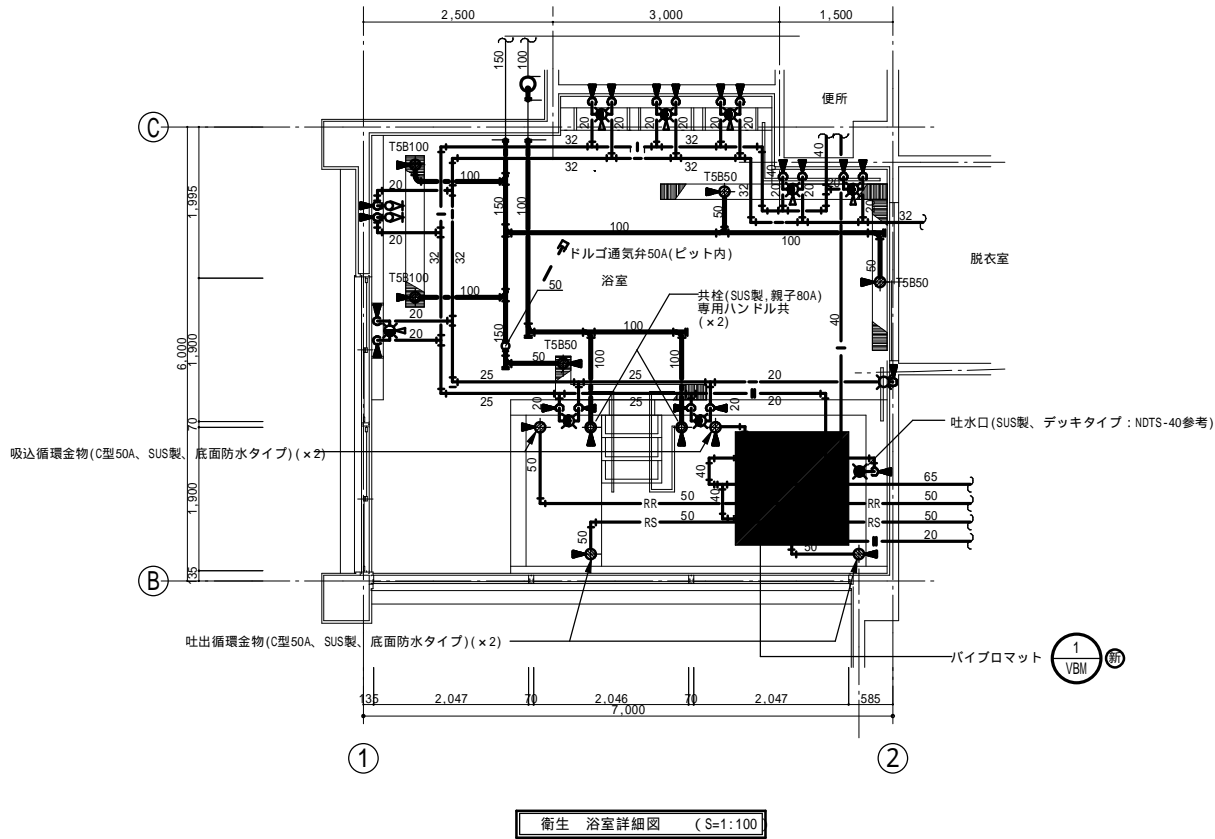
ポンプ類		型 式	数 量	口 径 ・mm	吐 出 量 ℓ / min	揚 程 KPa	電 動 機			防振台	基 礎	備 考
記 号	系 統・用途						kW		V			
1 PHIU	給湯加圧ポンプ	ユニット型	1	40	140	330	1.5	3	200		(既存) RC300H	・本体SUS製、推定末端圧一定インバーター制御、2台ロータリー自動交互(1/2)運転、制御盤(5P×1、ELCB、ユニット故障、受水槽満減表示、外部警報出力端子) 、吸込みユニット(32A×2、SUS製) SUS製アンカーボルト(あと施工アンカー)、防振架台、他付属品一式
2 PHR	ろ過昇温1次ポンプ	ラインポンプ	1	50	150	150	1.5	3	200		架台受	・本体SUS製、推定末端圧一定インバーター制御、3台ロータリー自動交互並列(2/3)運転、制御盤(5P×1、ELCB、ユニット故障、受水槽満減表示、外部警報出力端子) 、吸込みユニット(50A×3、SUS製) SUS製アンカーボルト(埋込アンカー)、防振架台、他付属品一式
共通事項		・										

水 槽		型 式	数 量	有効 容量 m3	水槽寸法				附 属 品					耐震	基 礎	備 考
記 号	系 統・用途				W・m	L・m	H・m		平架台	ベース架台	マンホール	タラップ	通気口			
6 THW	給湯タンク	SUS製保温パネル組立型	1	6.0	2.0	2.0	2.0			亜鉛メッキ 150H	SUS製 600×1	内・PVC製×1 外・亜鉛メッキ×1	PVC製×1 防虫金網付(SUS)	1.5	RC500	・マンホール施設、SUS製アンカーボルト(埋込アンカー)、通気口65A×1、電極座×2、接続口(0F100A×1、DR50A×1 、給湯40A×1・20A×1、ろ過昇温40A×2、熱源20A×2、補給(上水)20A×1)
共通事項																

ろ過機		数 量	型 式	濾 材	処理水量 m3/h	材 質	背 圧 (m)	濾過ポンプ (PIF)			熱交換器				基 礎	備 考
記 号	系 統							形式	kW	電 源	形式	材質	容量kW	入口温度		
1 WU	浴槽ろ過(浴室)	1	ユニット型	人工砂	9.0	FRP		自吸式	1.5	3 200v	セエル&チューブ	SUS	11.0	43	RC200H(既存)	・自動減菌装置(CL):タンク100L ・熱交換器:1次条件 入口温度65 出口温度55
共通事項		ユニットタイプ	水質管理ユニット付(塩素濃度自動管理式:測定計器、残塩計、PH計、記録計付) ろ過機自動運転盤付き(通常、逆洗(スケジュール)、槽水位制御:減菌装置、ポンプ異常、補給水弁制御、外部端子)													

パイプロマット		数 量	型 式・寸 法	エアー 供給口	備 考
記 号	系 統				
1 VBM	浴槽	1	スタンダードタイプ 1500×1500mm	40A×2	・ステンレス製
共通事項		・			

ブロー(パイプロマット用)		型 式	数 量	口 径 ・mm	空 気 吐 出 量 m3 / min	吐 出 圧 力 MPa	電 動 機			防振台	基 礎	備 考
記 号	系 統・用途						kW		V			
1 VB	浴槽(パイプロマット用)	ユニット型	1	65	2.2	0.0098	2.2	3	200		(既存) RC300H	・制御盤(指定色塗装、屋内壁掛型)、押しボタンスイッチ、防振架台
共通事項		・										



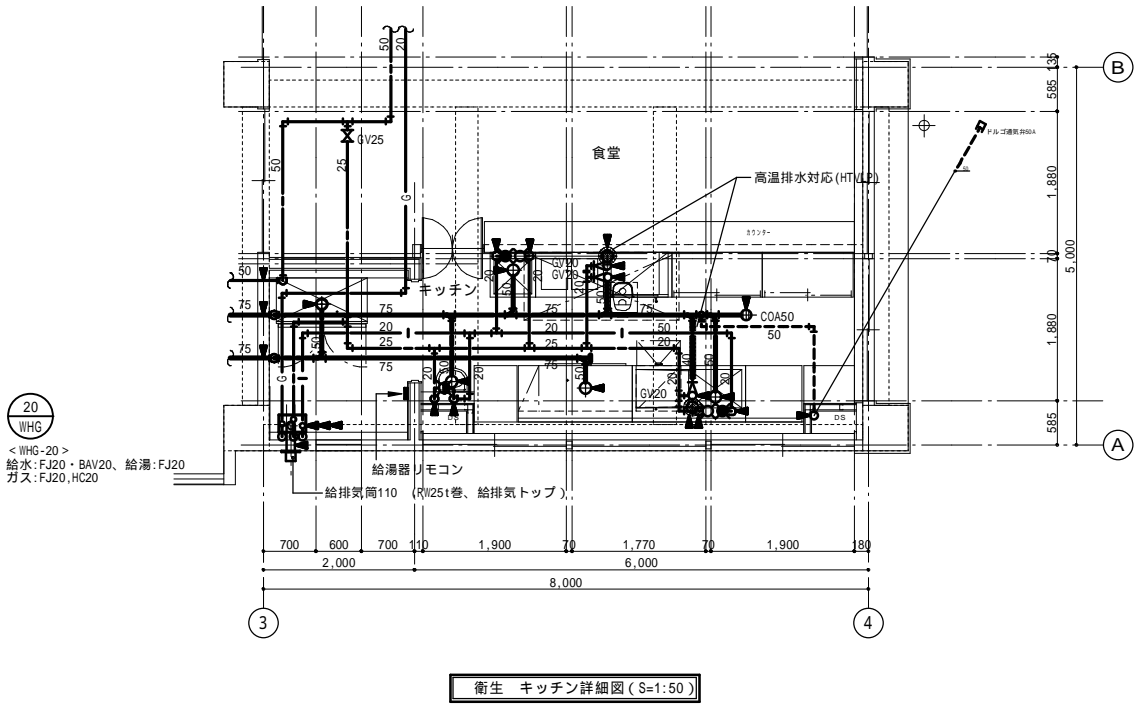
改修後図示凡例	
図示 記号	工事内容
①	新設機器
②	取外し品整備清掃後再取付
③	既存そのまま使用
④	既存位置より、新規設置位置に移設する
—	配管工事境界(既設管接続部)
◀	貫通はつり箇所
改修工事凡例	
注1. 図示する配管は既存を示す	
—	太線で示す配管は全て新設とする
—	細線で示す配管は既存のままとする

衛生器具表												
器具名称	参考型番 [ TOTO ]	摘 要	数量 合計	1階					屋外		備考	
				キッチン						外部		
手洗器	L210C, TLDP2105JA, TEL28SS2A	自動サーモ混合水栓	1	1								
自在水栓	T136BUNS13C	泡沫、立水栓	4	4								

ガス給湯器		型 式			数量	ガス消費量 (LPG)		消費 電力	電源		基礎	備 考
記 号	系統・用途					kW	kg	W		V		
20 WHG	キッチン	屋内壁掛FFタイプ	給湯専用	20号	1	41.9	3.00	110	1	100		・配管カバー(600H)、リモコン(ケーブル工事共)、給排気トップ、給排気筒、その他一式
共通事項												

阻 集 器		型 式		数量	材質	槽内寸法(参考)			容量 Lmm	許容 流入容量 L/min	阻集 グリース量 kg	備 考	参考型番
記 号	系統・用途					Lmm	Wmm	Hmm					
30 GT	キッチン・グリース	地中埋込パイプ導入型(レジコン補強)	3槽式	1	FRP	500	400	500	-	30	9.4	・認定品、銅板製蓋、SUS製バスケット付、嵩上げ300H、基礎コンクリート共	・RGF-40P(ホーコス)
共通事項													

改修後図示凡例	
図示 記号	工事内容
新	新設機器
取	取外し品整備清掃後再取付
既	既存そのまま使用
配	配管工事境界(既設管接続部)
貫	貫通はつり箇所
改修工事凡例	
注1: 図示する配管は既存を示す	
太線で示す配管は全て新設とする	
細線で示す配管は既存のままとする	





既存機器表

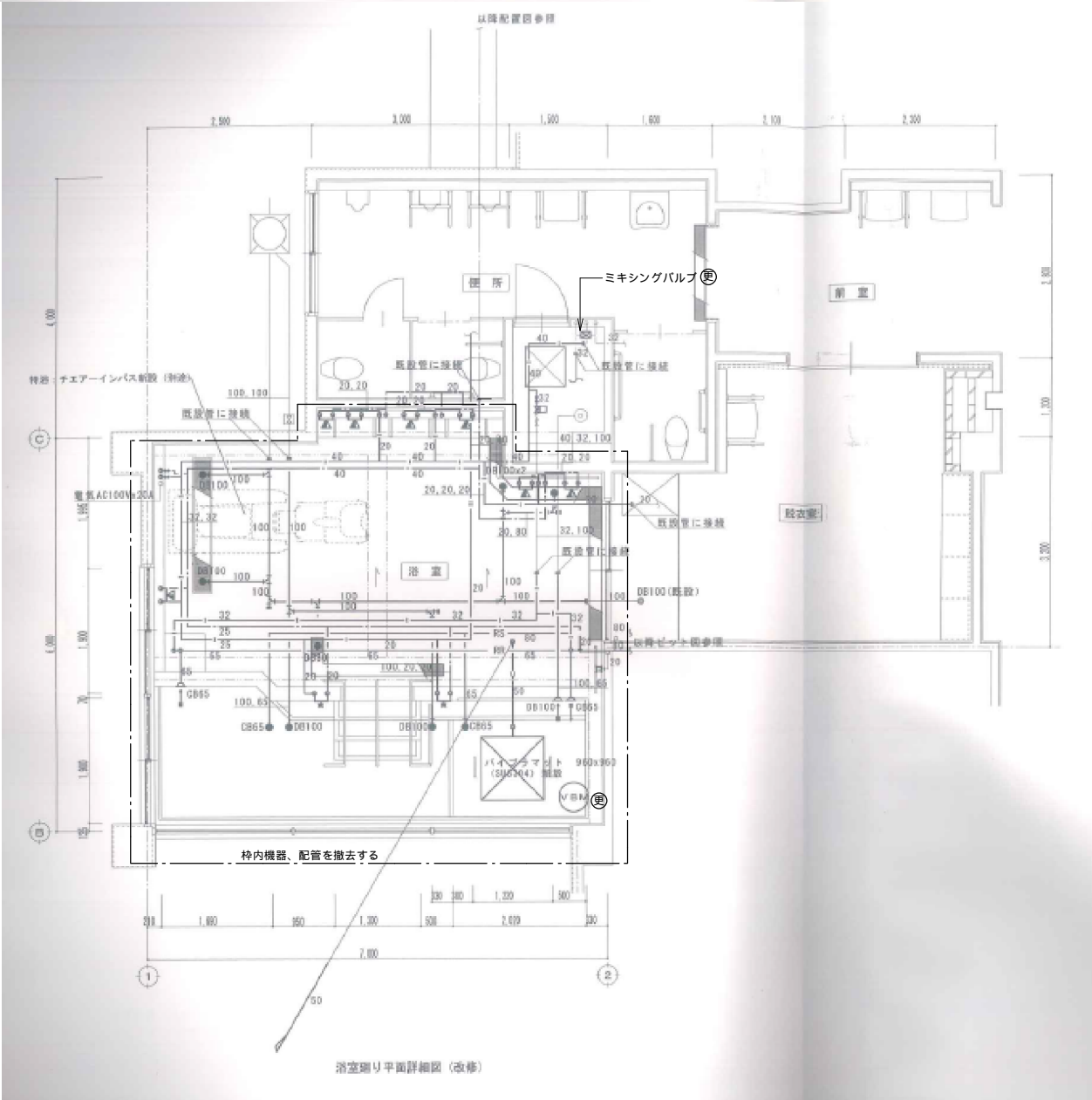
記号	機器名称	仕様規格	台数
ECM	業務用エコキュート	DARV-N560A 貯湯運転 加熱能力 定格 40KW 水流量 111.9L/min 消費電力 0.75KW 最大 56KW 水流量 16.7L/min 消費電力 16KW システムリモコン RF-80A 入水配管キット Q-1VB 電動弁 Q-2V 開放貯湯用貯湯量センサー Q-1SB 遠方表示用電圧圧品基盤 Q-2S 減圧弁 Q-3V 防雪フード吸込機 Q-560SD 基礎(建築工事)	1
HWT	貯湯槽	ステンレスタンク(SUS444)2000x2500x1500H 基礎(建築工事)	1

既存機器表

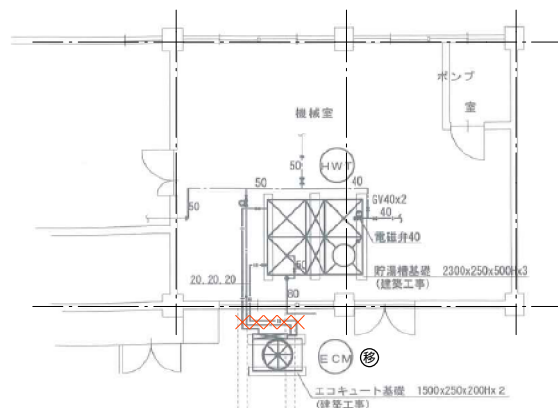
記号	機器名称	仕様規格	台数
P-1	給湯加圧ポンプ	KFH2-40A1.5 検定電圧一定インバータ制御(交互運転) 40Ax140I/minx32Hx1.5KWx3Φx200V 基礎(建築工事)	1
MKM	循環ポンプ	ケミカルタンク NTS-051 50L 流量定数ポンプ NSC-01 最大吐出量20L/min 最大吐出圧力 8kg/cm2 ろ過バypass運転	1
VB	プロア	50Ax1.0Mx1400mmAx0.85KWx3Φx200V	1
VB	バイブレーション	ステンレス製 960x960	1
FE-1	排気ファン	消音形耐湿タイプ BFS-40S1 150Φx100Vx20Wx40M3/Hx69Pa 耐湿形排気グリル BFS-15W63 ステンレス製選形フード PE-15SV3	1
FE-2	給気ファン	消音形耐湿タイプ BFS-40S1 150Φx100Vx20Wx40M3/Hx69Pa 耐湿形給気グリル BFS-15W63 ステンレス製選形フード PE-15SV3	1

浴室改修衛生器具表 (新設)

器具名称	参考品番	数量
ミキシングバルブ(大型)	TM440ARK32A	1
シャワーセット(自閉式)	TWF49CGAR	6
シャワーセット(自閉式)	TWH644C	1
バス水栓	TBR20	2
鏡水栓	T28AMH13	1
シャワーグリップ	TS137C	6
化粧鏡	TS119FR5	6

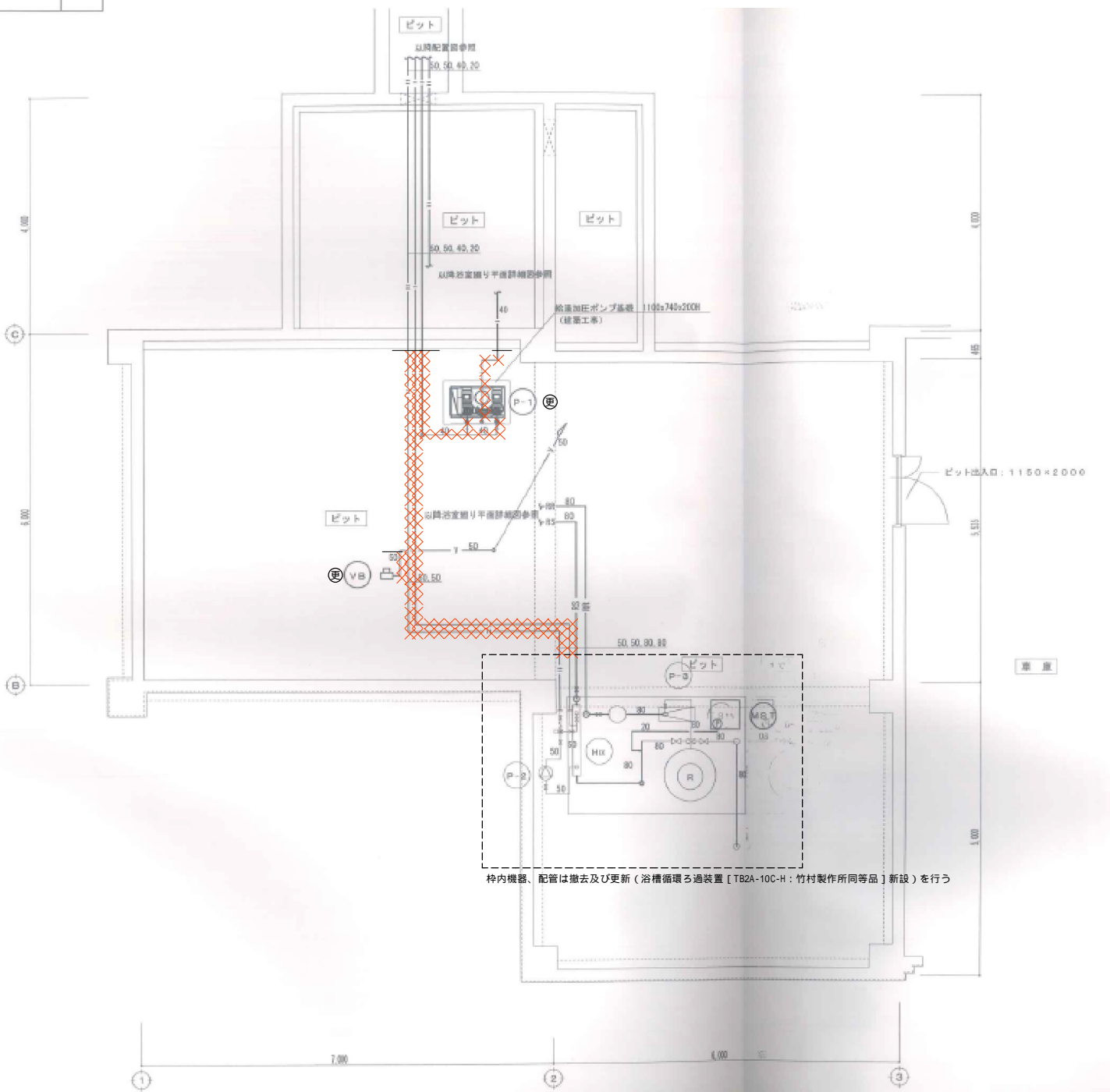


衛生浴室詳細図(撤去) (S=1:100)



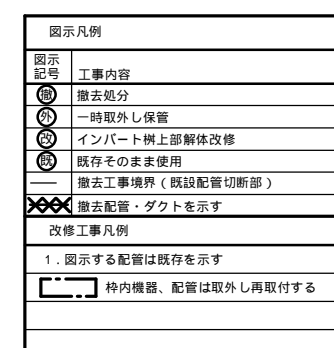
図号	工事内容
新	新設機器
取	取外し品整備清掃後再取付
更	既存撤去及び更新(新設)
撤	撤去処分
外	一時取外し保管
移	既存位置より、新規設置位置に移設する
既	既存そのまま使用
切	撤去工事境界(既設配管切断部)
ダ	撤去配管・ダクトを示す

改修工事凡例
1. 図示する配管は既存を示す
枠内機器、配管を撤去する
枠内機器、配管は撤去及び更新(新設)を行う



衛生ビット詳細図(撤去・改修) (S=1:100)

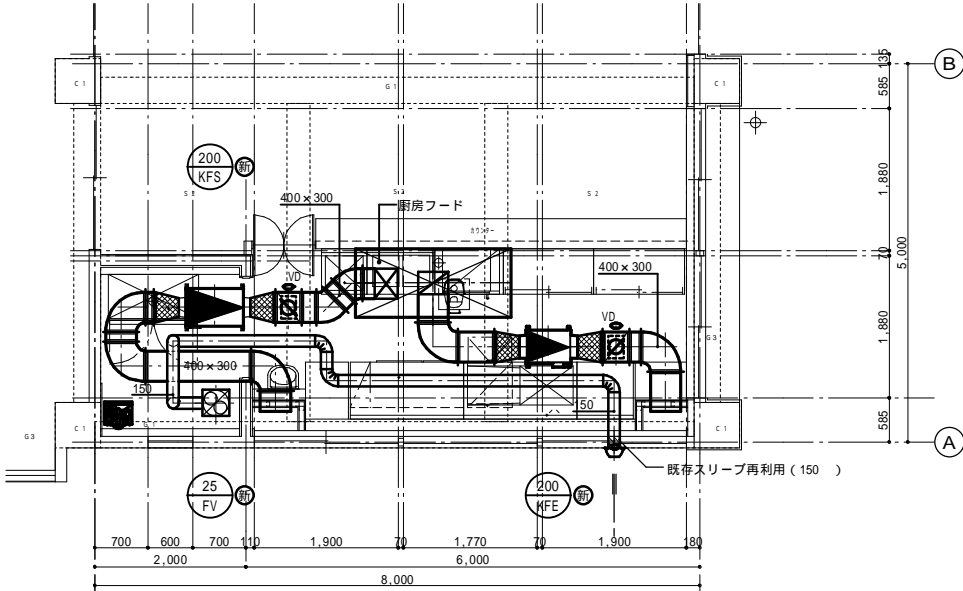




既存機器表			
機器一覽表			
記号	名称	型 式 仕 様	台 数
FC-0	温 水 ホ イ ラー	循環用、半圧 出力 420,000 kcal/h A 重油 低燃価種 7.0 MPa 3*200V 0.75 kw	1
P-1	温 水 循環ポンプ	ライオンポン 65φ×400 mm、25m 37 kw (3*200 V)	1
FC-1	ファンコイルマター	床置1双運転 暖房能力 15,000 kcal/h 入口水温 60℃、水量 30 R/min	4
FC-2	〃	〃 〃 〃 6,000 kcal/h 〃 60℃、〃 10 R/min	2
FC-3	〃	床置上下双運転 〃 5,400 kcal/h 〃 60℃、〃 10 R/min	2
FC-4	〃	ローボイ型 〃 6,000 kcal/h 〃 60℃、〃 10 R/min	1
AC-1	エ ア コ ン	天吊埋込700W型 冷房用型 冷房能力 10,000 kcal/h、消費電力 4.38 kw	4
AC-2	〃	〃 〃 〃 4,500 kcal/h、〃 1.75 kw	2
AC-3	〃	壁 掛 型、 〃 〃 4,500 kcal/h、〃 1.85 kw	2
F-1	電 気 扇	低騒音型 インチリアダ 600 mm×70 W 1*100V 7A2VC	3
F-2	〃	〃 インチリアダ 384 mm×51 W 1*100V 7A2VC	2
F-3	〃	〃 288 mm×22 W 1*100V 〃	3
F-4	〃	静 音 型 162 mm×18 W 1*100V 〃	2
F-5	〃	低騒音型 270 mm×22 W 1*100V 〃	2
F-6	壁 付 換 気 扇	20 cm 200 mm×24.9 W 1*100V 7A172A-30V-(静音型)	1
F-7	バ イ オ 用 フ ァ ン	42 mm×11 W、1*100V 7A2VC	1
PH-1	パ ネ ル ヒ ー タ ー	床置型 490L (H100-2 標準品)	1
PH-2	〃	〃 490L (H100 〃)	2
PH-3	〃	〃 1,700L (YL70-50-2 〃)	1

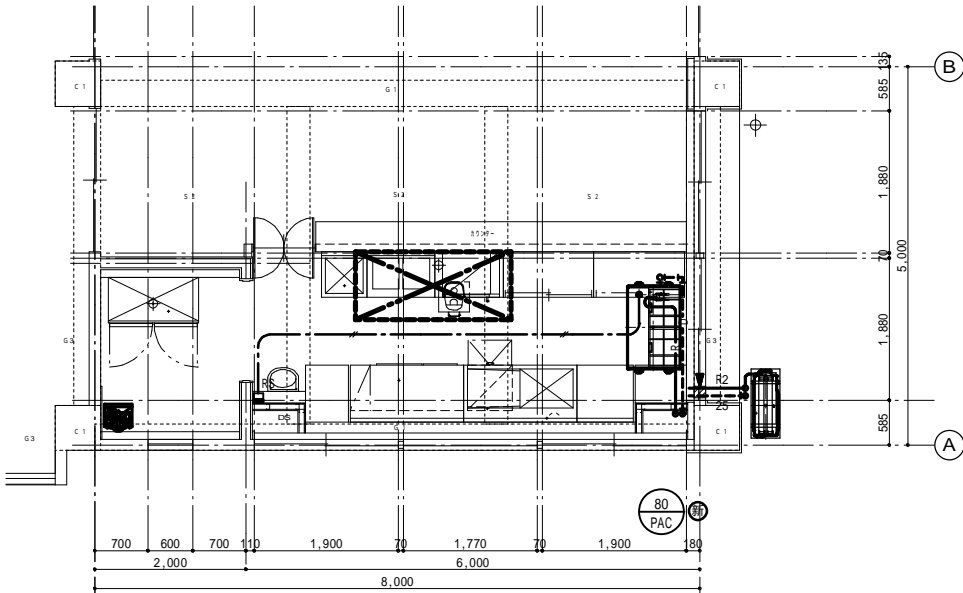
送風機（厨房フード用）		仕様・規格・型式			数量	番手・#	風量 m3/H	静圧 Pa	電動機(消費電力)			風量制御 INV	防振台 防振吊金具	備考	参考型番
記号	名称								kW (W)	V					
200 KFE	厨房フード（1）・排気ファン	ストレート シロッコファン	天吊埋込タイプ	厨房用	1	#1・1/2	2,000	250	0.7	3	200	1		・ステンレス製（外装・ドレンパン）、風量測定口、ファンインバーター（3相）	BFS-210TX2（三菱電機）
200 KFS	厨房フード（1）・給気ファン	ストレート シロッコファン	天吊埋込タイプ	消音タイプ	1	#1・1/2	2,000	200	0.7	3	200	1		・風量測定口、ファンインバーター（3相）	BFS-210STUA2（三菱電機）
共通事項		・防振吊金具	キャンパス継手、VD	・1.樹脂製ボックス内納め（天井内設置）											

機器表2：換気扇		仕様・規格・型式			数量	給排気区分	風量 m3/H	静圧 Pa	熱効率 %	ダクト・羽径 mm	電動機(消費電力)			運転方式	備考	参考型番
記号	系統・用途										W	V				
25 FV	一般排気	天井埋込ダクト扇	低騒音	インテリア格子パネル	1	排気	250	100	-	150	40	1	100	手動	・深形フード（排気、SUS製、網付、焼付塗装指定色）	VD-18ZXP14-C：三菱電機
共通事項		・防振吊金具	・	・各機器表電気容量同以下機種とする												



換気 キッチン詳細図 (S=1:50)

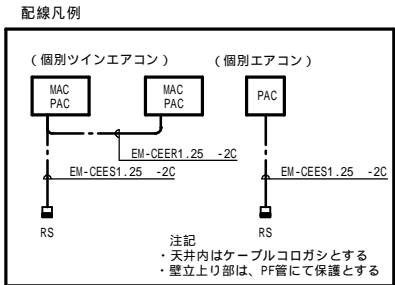
空冷ヒートポンプエアコン（標準モデル）					台数	組数	冷房能力 定格 kw	暖房能力 kw		送風量 m3/分	ファン W	圧縮機 kW	消費電力 kwh (w)		電源 60Hz V	主フィルター 形式	加湿器 形式 kg/h	冷媒管 (液・ガス)	備 考	参考型番	
記 号	形 式							定格	低温				冷房定格	暖房定格							
80 PAC1	室外機	ベア	3HP	冷暖切替	1	1	7.1	8.0	6.3	45	90	1.7	2.6	2.54	1 200	-	-	-	9.5/15.9	・平架台(溶融亜鉛めっき仕上げ、防振ゴム)、耐塩仕様	SZRT80CV（ダイキン）
	室内機	一般用	80型	厨房用天吊形	1		同上	同上	同上	19	60	-	-	-	-	ロングライフ	-	-	9.5/15.9	・背面化粧パネル、ドレンアップキット、本体リモコン(ケーブル工事共)	
共通事項																					
・ 室外機はグリーン購入法調達基準適合品とする      ・ 空調能力はJIS規格に基づく      室内機：背面化粧パネル、ドレンアップ機能付      ・ 室内外機の渡り配線(電源・制御、冷媒共巻)は本工事																					



衛生 キッチン詳細図 (S=1:50)

改修後図示凡例	
図示 記号	工事内容
①	新設機器
②	取外し品整備清掃後再取付
③	既存そのまま使用
—	配管工事境界（既設管接続部）
◀	貫通はつり箇所
改修工事凡例	
注1．図示する配管は既存を示す	
—	太線で示す配管は全て新設とする
—	細線で示す配管は既存のままとする

ACリモコン配線工事	
RS	：エアコンリモコン取付け(個別)
—	配線EM-CEE-S1.25 ×2C(天井内転がし)
注1.立下り（隠ぺい）部分はPF管にて保護する	

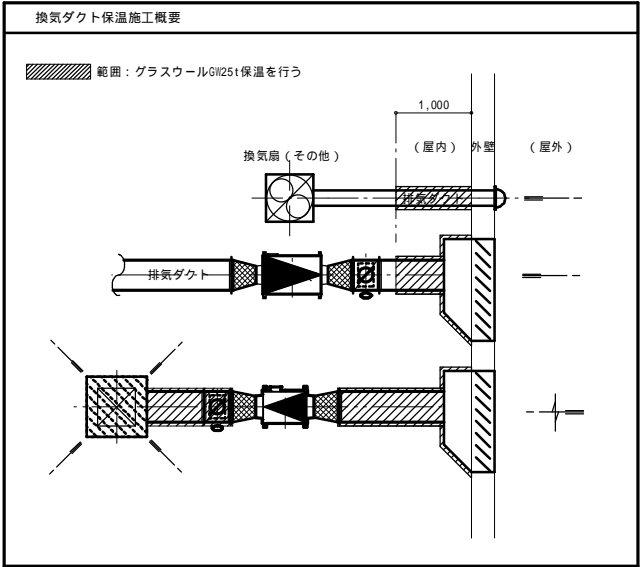


冷媒配管サイズ凡例表	
記号	冷媒管（液管×ガス管）
R1	6.4 ×12.7（連絡線共）
R2	9.5 ×15.9（連絡線共）
R3	9.5 ×19.1（連絡線共）
R4	9.5 ×22.2（連絡線共）
R5	12.7 ×25.4（連絡線共）
R6	12.7 ×28.6（連絡線共）
R7	15.9 ×28.6（連絡線共）
連絡線 (パッケージ)	EM-CEES 2.0 〃 -3C (冷媒管共巻)



厨房フードリスト			給排気一体箱型二重フード寸法 (SUS304製)				グリスフィルター		防火シャッター		火気使用室換気計算		器具必要風量					面風速必要風量		設 計 風 量				判定	備 考	
							SUS製・両面式 低圧損タイプ (ホーコス)	数量	SUS製 m/m	数量			区分計算式 [C]=30、40	機器名称	台数 (台)	燃 料 TG・電気	単品 消費量 kw/h	合計 消費量 kw/h	必要換気量 m3/h	面風速 m/S	必要換気量 m3/h	機器記号	単品 換気量 m3/h			台数 台
記 号	階	室 名	W m/m	D m/m	H m/m	数量																				
厨房フード	1	キッチン	2,050	900	850	1	FSVL2-530W	1			V1 e(30)・P	IHテーブル	1	電気	5.0×2	10.0	300	0.3	1,993						・ステンレス製(ヘヤーライン)、コレクターカップ	
											V1 e(30)・P	卓上型スチームコンベクションオープン	1	電気	4.7	4.7	141								・給気グリル、給気チャンバー断熱付	
																	計 1,005	<	1,993	KFE-200	2,000	1	2,000	OK	・フードライト ( 20形×2 )	
特記事項	ガス式の計算式 V CKQ C:フード型係数 K:理論排ガス量(都市ガス)0.93[m3/kW] Q:ガス機器の燃焼消費量[kW]、電気式の計算式 V1 e・P e:電気式厨房器具の換気係数 30、40[m3/(h・kW)] P:電気機器の電気容量[kW]																									

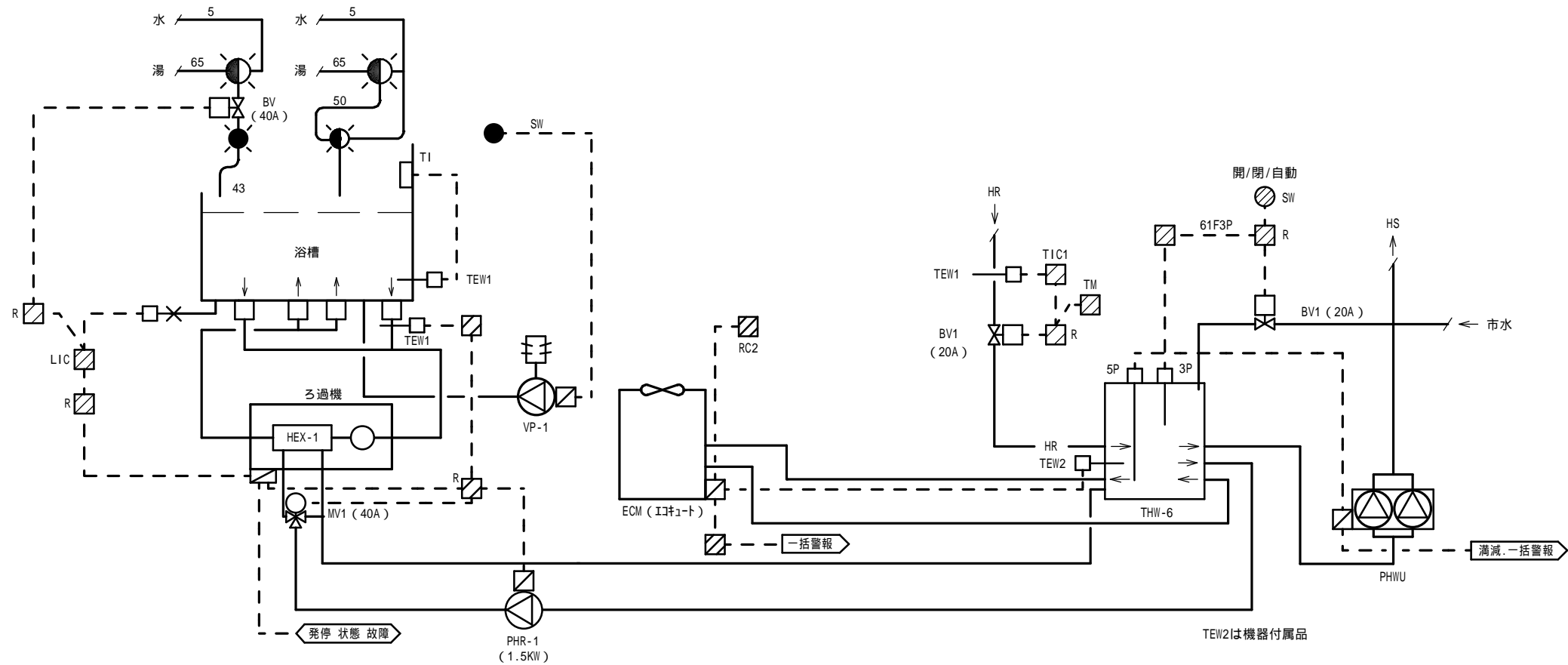
送 風 機 (厨房フード用)		仕様・規格・型式				数量	番 手 ・ #	風量 m3/H	静圧 Pa	電動機(消費電力)				風量制御 INV	防振台 防振吊金具	備 考	参考型番
記 号	名称									kW (W)			V				
200 KFE	厨房フード(1)・排気ファン	ストレート シロッコファン	天吊埋込タイプ	厨房用	1	#1・1/2	2,000	250	0.7	3	200	1				・ステンレス製(外装・ドレンパン)、風量測定口、ファンインバーター(3相)	BFS-210TX2 (三菱電機)
200 KFS	厨房フード(1)・給気ファン	ストレート シロッコファン	天吊埋込タイプ	消音タイプ	1	#1・1/2	2,000	200	0.7	3	200	1				・風量測定口、ファンインバーター(3相)	BFS-210STUA2 (三菱電機)
共通事項		・ 防振吊金具 キャンバス継手、VD ・ 1.樹脂製ボックス内納め(天井内設置)															



浴槽 熱源廻り 制御 1 S E T

制御内容

- 1. 浴槽昇温制御
- 2. 温水配管温度補償
- 3. 貯湯槽バックアップ制御
- 4. 貯湯槽水位制御
- 5. ろ過機と温水ポンプ連動制御  
( 温水ポンプマグネット回路も含む )
- 6. 浴槽温度指示
- 7. 浴槽水位制御
- 8. インタロッカー制御



警報表示ポイント表

名 称	監視対象盤	警報
受水槽満減警報	PHWU	2
加圧給水ポンプ一括警報	PHWU	1
エコキュート 一括警報	ECM	1
濾過機一括警報	濾過機	1
排水ポンプ一括警報	PD1	1
		6

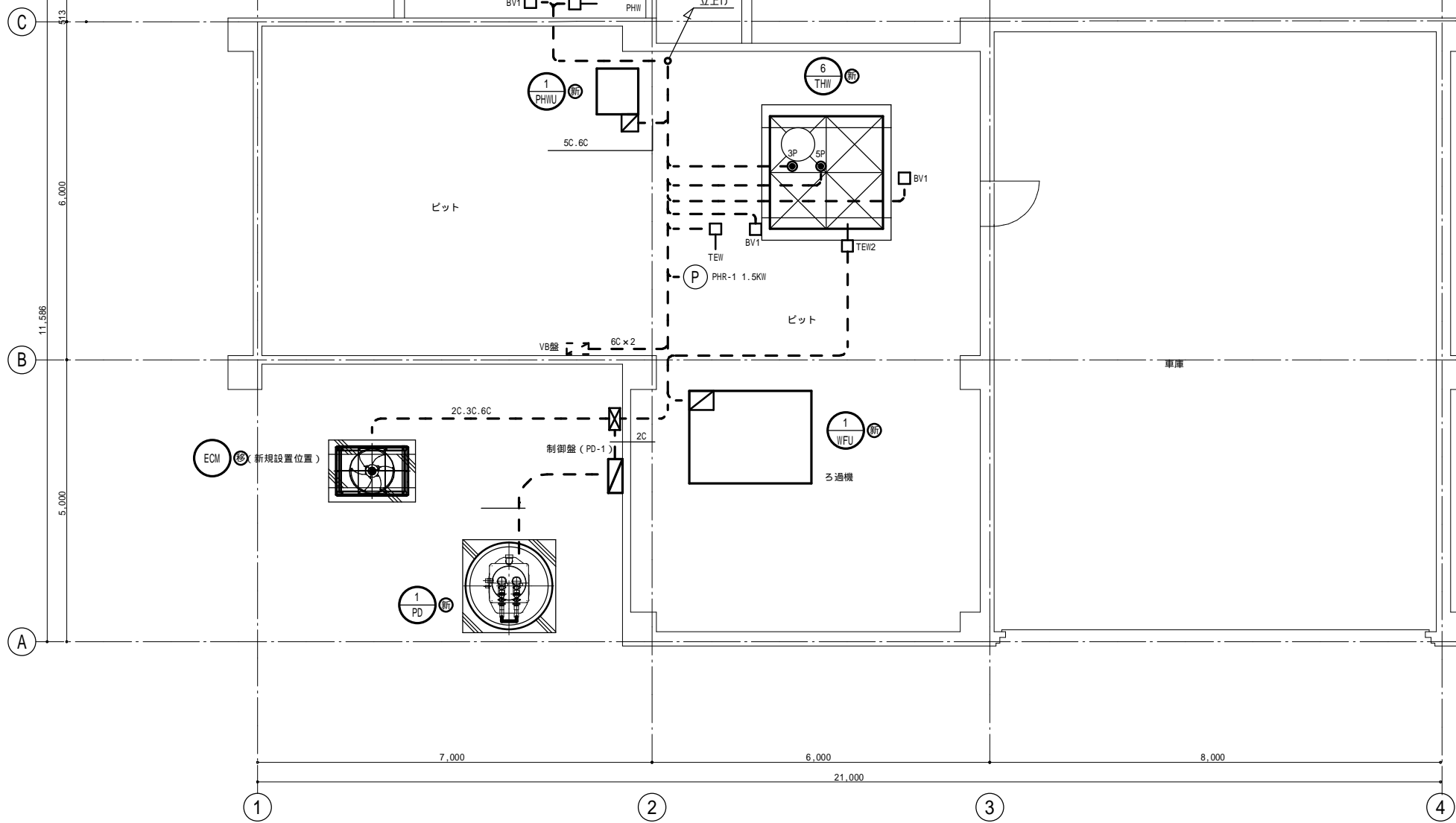
自動制御機器表

記号	名 称	型 番	備 考
TEW1	挿入型温度検出器	EK-B-L-015	
TEW2	挿入型温度検出器		機器附属品
PE	水位発信器	LL1	0 ~ 50KPa
TIC1	温度指示調節計	RCP-1A	
TIC1	温度指示調節計	UT32A	
R	補助リレー		
TM	24時間タイマー		
61F3P	フロートレススイッチ	61F3P	電極棒、保持器付
5P	電極棒	5P	保持器付
BV1	電動2方弁		20A、40A
MV1	電動3方弁	EH24-TKLVE	40A

自動制御盤一覧表

盤 名 称	系 統 名	寸 法			備 考
		W	H	D	
1CP-1A	浴槽制御、動力回路1.5KW 警報表示ポイント表参照、警報ブザー付き	700	1600	300	

シンボル	記号	配線	配管		
			インベイ	露出	屋外
—□	TEW1	CVV1.25-3C	(PF22)	(E25)	(G22)
—□	TEW2	CVV1.25-3C	(PF22)	(E25)	(G22)
□	BV1	CVV1.25-4C	(PF22)	(E25)	(G22)
□	MV1	CVV1.25-4C	(PF22)	(E25)	(G22)
●	3P	CVV1.25-3C	(PF22)	(E25)	(G22)
●	5P	CVV1.25-5C	(PF22)	(E25)	(G22)
○	RC1	CVV1.25-2C	(PF22)	(E25)	(G22)
○	RC2	CVV1.25-2C	(PF22)	(E25)	(G22)
—	2C	CVV1.25-2C	(PF22)	(E25)	(G22)
—	3C	CVV1.25-3C	(PF22)	(E25)	(G22)
—	4C	CVV1.25-4C	(PF22)	(E25)	(G22)
—	5C	CVV1.25-5C	(PF22)	(E25)	(G22)
—	6C	CVV1.25-6C	(PF22)	(E25)	(G22)
Ⓟ	HP-1	CV3.5-4C	(PF28)	(E31)	(G28)

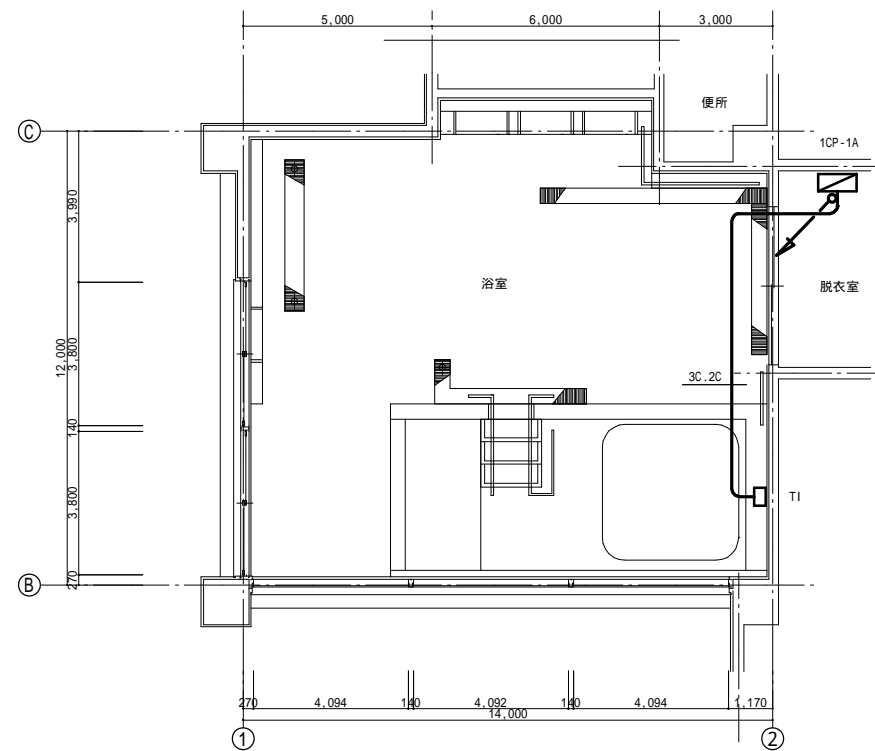


専用ケーブル (E31) 電源  
専用ケーブル (E31) フロート  
専用ケーブルは機器付属品

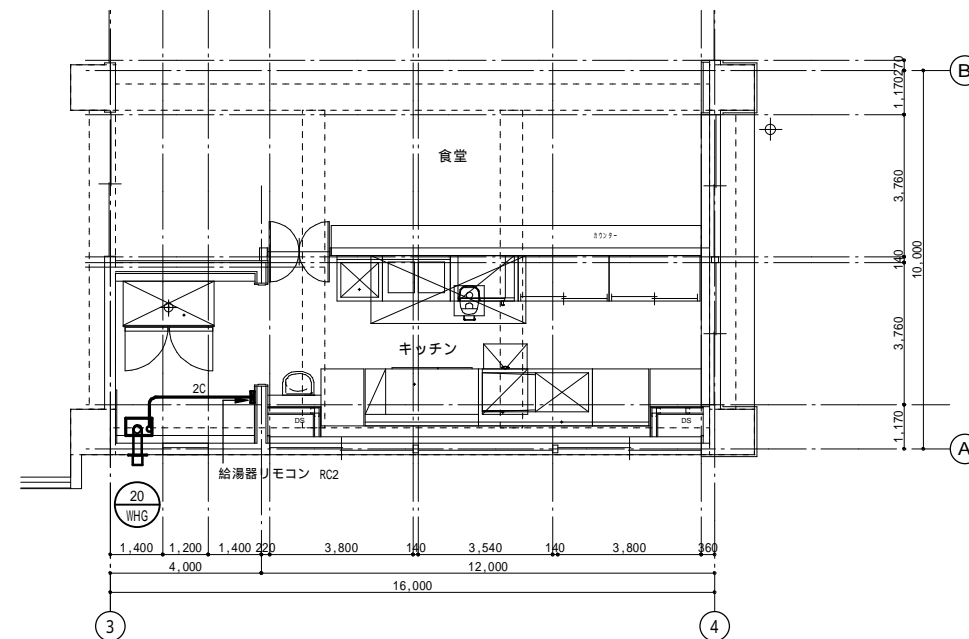
立上げ  
CVV1.25-2C x 4 (E51) x 2 RC PE 3P.PD-1AL  
CVV1.25-3C x 3 TEW1 x 3  
CVV1.25-4C MV1  
CVV1.25-6C x 3 ろ過機.ECM.PHW  
CVV1.25-4C x 2 (E51) BV1 x 2  
CVV1.25-6C x 2 VB盤  
CV3.5-4C PHR-1

衛生 ビット平面図 (S=1:100)





浴室 (S=1:200)



衛生 キッチン詳細図 (S=1:200)